

# 西宮文学案内

平成26年度

春期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。西宮と関わりある作家・作品をとり上げ、その魅力を探っていきます。

## 第1回 「ラ・パボーニ」を訪れた作家たち

講師：蓮沼純一（西宮芦屋研究所員）

5/17(土)14:00 会場：夙川公民館 講堂

## 第2回 刻まれた足跡 — 甲子園球場

講師：後藤正治（ノンフィクション作家）

6/15(日)14:00 会場：なるお文化ホール

## 第3回 阪神間少年・森繁久彌 生誕100年記念

講師：河内厚郎（文化プロデューサー）、小西巧治（西宮芦屋研究員）

7/27(日)15:00 会場：鳴尾会館

定員：第1回 200名 第2回 600名 第3回 150名  
(単発受講可。但し、抽選の場合は連続受講の方を優先します。)

受講料：各回500円

お申込み：ハガキ、FAX、ホームページ申込フォームの何れかにて  
①受講希望日②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別  
⑦電話番号を記入の上お申し込みください。

締切：4月18日(金)必着

宛先：〒662-0918西宮市六湛寺町10-11

(公財)西宮市文化振興財団「文学案内」係

FAX.0798-33-3455 E-mail = amity@nishi.or.jp

※複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①～⑦を記入ください。

※定員を超えた場合は抽選。結果は当落に関わらず郵送でお知らせします。

西宮市大学交流センターの催し 主催：西宮市大学交流協議会  
お問合せ：西宮市大学交流センター ☎0798-69-3155

市民対象講座

2014年度

### インターカレッジ西宮

### 死生学レクチャー (関西学院大学提供)

5/15(木) 生きること、死ぬこと—死生学の視点から—

人間福祉学部 人間科学科 藤井美和 教授

よく死ぬことはよく生きること—といわれるように、死を否定するより、向き合うことによって、積極的な生が全うされます。死に直面したとき、人は「自分は何のために生きてきたのか」「自分は誰かに必要とされているのか」と、生きる意味を問い直します。生きることは、楽しいことだけでなく、苦しいことが多いのではないのでしょうか。「死を視野に入れて生きることは？」「人のもつ苦しみとは？」。講義ではこれらの問いを死生学の視点から考えます。

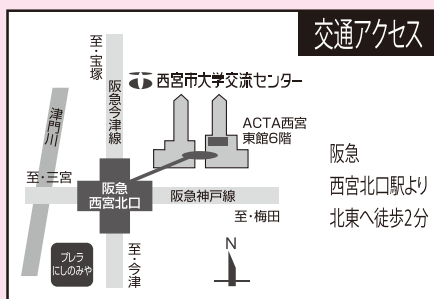
5/22(木) 死別の悲しみに向き合う

人間福祉学部 人間科学科 坂口幸弘 教授

大切な人との死別は人生の中で最も重大で過酷な出来事の一つであり、配偶者を失った人の場合では、死亡リスクが高まるとも言われています。死別の悲しみを糧として、新たな生活や人生を歩み始めている人がいる一方で、悲しみの淵からなかなか抜け出せない人もいます。本講座では、死別後に起こりうる反応や経過を解説するとともに、自分が死別したとき、あるいは身近な人が死別したときに必要なことや役に立つことについても話をします。

時間 ■ 10:30 ~ 12:00

会場 ■ 西宮市大学交流センター (ACTA 西宮東館6 F)



受講料 ■ 1,500円 (全2回) 定員 ■ 各100名

申込期間 ■ 3/25(火) から 4/30(水) まで

※申込み多数の場合は抽選、定員に満たない場合は締切後も受付します。

申込方法 ■ ①講座名②〒・ご住所 ③お名前 (ふりがな)④お電話番号

⑤お歳⑥性別を明記のうえお申込みください。

申込先 ■ はがき：〒663-8035 西宮市北口町1番2号

西宮市大学交流センター

「死生学レクチャー」係

電話：0798-69-3155

FAX：0798-64-5082

Eメール：10daigaku@nishi.or.jp

携帯：右記QRコードを読み込んでください。

PC・スマートフォン：西宮市大学交流センターホーム

ページ内の受講申込フォームより



プレアホールの催し

主催：西宮市プレアホール指定管理者 (株)双葉化学商会  
お問合せ：西宮市プレアホール ☎0798-64-9485

## 飯田憲司サキソフォンリサイタル

### = サキソフォンの魅力18 = 「思い・想い」

■ 4/23(水) 18:30 開場 19:00 開演

■ 全自由席 前売 ¥3,000 当日 ¥3,500

出演 ■ 飯田憲司、小野田亨子、山下嘉範、井手信志、松並真嗣、大仲千賀子、唐仁原加苗



## 劇団シャンソン座 『空震～平成贅沢禁止令～』

シャンソン歌手によるシャンソン音楽劇です。素敵な歌と涙と笑いのお芝居をお楽しみ下さい☆



5/18(日) 16:00 開場 16:30 開演

全自由席 前売 ¥4,500 当日 ¥5,000

脚本・構成・演出 ■ acco

音楽 ■ 大西教文・acco

出演 ■ 拵井加代子、青木小夜子、絵里加、大樋稔、KOMA、谷本耕治、洲上秀樹、フーミン